



①発信する ②追究する ③粘り強く ④つながる ⑤思いや願いを実現しようとする ⑥課題解決する

## 目標をもって進む子どもに

副校長 坂本 陽子

年末から年明けにかけて、この時期恒例のスポーツの大会が行われました。3年ぶりに行動制限のない年末年始のとなり、全国高校サッカー選手権、全国高校ラグビー大会、ウインターカップ2022、箱根駅伝、ニューイヤー駅伝などの開催で選手、関係者の方々、スポーツファンは大いに盛り上がりました。箱根駅伝は、往路・復路共に、初音が丘小学校の近くを走る国道1号線もコースとなっているので、観戦したという方もいらっしゃるでしょう。

さて、スポーツは目標設定をして、それに向かって努力をするということをよく聞きます。では、目標を立てることの成果とは、どんなことなのでしょう。

○モチベーションを維持することができる

物事を行うための動機ややる気、意欲などをモチベーションといいます。他人から与えられて「やらされている感」では、受け身の姿勢になりがちです。自分で目標設定をすると、能動的に取り組めると言われています。

○達成感を感じることができる

自分で試行錯誤しながら目標を達成できれば、自信にもつながるはずです。

○やるべきことが明確になる

目標設定をすることによって、それを達成するまでの道筋が見えてきます。

この目標設定のことは、スポーツに限りません。「1年の計は元旦にあり」というように、新年を迎えて新たに目標を立てたり、学校でも学習や生活、学校行事を行う際にゴールを設定してそれに向かっていく手立てとして設定したりすることが多くあります。

昨年11月に、サッカーJリーグ横浜FCのトップチームの選手が来校し、「夢で逢えたら」というプロジェクトで6年生に授業をしていただく機会がありました。プロジェクトのねらいは、夢に向かって努力することの大切さを伝えることです。3名の選手が各教室で自らの夢を叶えるためにしたことや、うまくいかない時の対処法などを、熱く時におもしろく語ってくださる姿に、子どもたちは引き込まれていました。質問コーナーもあり、選手に多くの質問が投げかけられ、子どもが選手と笑顔で交流している様子や授業後の感想を聞いても、この時間が子どもたちにとって良い時間だったと感じました。

目標を立てて、様々な方法、人との協働をしながら、ゴールを目指していく途中には、壁に当たることもあるでしょう。そのような時に、家族、指導者、仲間、友達、信頼できる人からのアドバイスやメッセージは大きな力となり、また頑張ろうという気持ちを湧きあがらせることになると思います。これからも、学校、家庭、地域の方々と手を取りあって、子どもたちを育てまいるまいりましょう。ご支援、ご協力を、よろしくお願ひいたします。

～すべては、子どもたちの笑顔のために～

